

平成 24 年度第 1 回日進市地域公共交通会議 議事録

日 時 平成 24 年 10 月 4 日 (木) 午前 9 時 30 分から
 場 所 日進市役所本庁舎 2 階第 4 会議室
 出 席 者 小塚みね子 (委員)、石川和美 (委員)、武田敏弘 (委員)、鈴木義尊 (委員)、
 松岡坂重 (委員)、竹下啓 (代理出席)、大竹弘真 (委員)、松本幸正 (会長)、
 都築基雄 (副会長)、仲龍典 (副会長)、永山明光 (委員)、加藤直樹 (委員)、
 西尾和晴 (代理出席)、林由紀夫 (委員)、加納祐司 (委員)、柴山卓也 (代理出席)、
 青山雅道 (委員)、伊藤孝明 (委員)
 欠 席 者 三輪洋子 (委員)、水野利子 (委員)、長崎三千男 (委員)、小林宏 (委員)
 事 務 局 市民生活部生活安全課
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 あり (2 名)
 報 告 事 項 (1) 個別課題の対応について
 (2) 平成 24 年度上半期の運行実績について
 議 題 (1) くるりんばすを取り巻く状況の変化について
 (2) くるりんばす運行見直しの方針について
 (3) 本年度の見直しスケジュールについて
 そ の 他

発 言 者	内 容
	1 開会
事 務 局	あいさつ (生活安全課長)
会 長	傍聴者が 2 名お見えになりますが許可してよろしいでしょうか。
	(異議なし)
会 長	それでは、入室してください。
	(傍聴者入室)
	2 会長あいさつ
	本年度、新たに委員となられた方に委嘱させていただきます。任期は、前任の委員の残任期間となります。
	3 会長あいさつ
会 長	本年度最初の地域交通会議にお集まりいただき、ありがとうございます。 今日の会議は 9 時半からの開催となっておりますが、これは“くるりんばす”で 来られる時間にあわせたものとなっております。こうした取り組みが地域公共交通 の普及の第一歩となると思います。 さて、この会議は、地域に必要なバス等の交通のあり方を地域で考え、実現す るという枠組みのものです。そもそも地域公共交通とは、元々民間事業者が担っ

発 言 者	内 容
	<p>ていました。それがだんだん難しくなってきたということで、その一部を行政が担うようになってきました。しかし、現在では行政だけでも厳しくなっており、市民の方々が一緒に支えていくという段階に移りつつあると思います。</p> <p>そうした意味では、日進市はいち早く市民の方がバスに関与する仕組みができたと思います。ただ、ここ数年、少し距離があったようにも感じます。</p> <p>この10月1日には「日進市市民参加及び市民自治活動条例」が施行されました。これを機に、くるりんばすを市民の方に引き寄せていく形にしたいと思います。そのためにも活発なご議論をお願いしたいと思います。</p>
事 務 局	それでは、会長に議事進行をお渡しします。
会 長	議事録署名者を順番により指名します。今回は松岡委員と大竹委員、お願いします。
(報告事項)	<p>(1) 個別課題の対応について</p> <p>(2) 平成24年度上半期の運行実績について</p>
会 長	報告事項の(1)及び(2)を一括して事務局より説明をお願いします。
事 務 局	<p>報告事項の(1)個別課題の対応について、平成24年4月以降のくるりんばすに関する取り組みについてご報告させていただきます。</p> <p>昨年度の会議でもご報告させていただきました車内有料広告ですが、本年5月から掲載を開始しており、この9月末現在で8件の申込みをいただき、49万円の収入がございました。内訳としましては、市内の病院が5件、市内の個人事業者が2件、一般企業が1件となっております。</p> <p>続いて、民間の検索サイトへの登録を行いました。本年6月からサービスが利用できるようになっていました。市ホームページからもリンクしてございますので、市民の皆様にもお手軽にご利用していただくことができます。</p> <p>続いて、ポケット版時刻表の作成を行いました。サイズは財布にも入れられる大きさとししました。バス車内や公共施設で配布させていただいています。</p> <p>最後に、くるりんばすを利用したPR映像作品の公開についてです。これは、市と連携協定を結んでいる名古屋学芸大学の学生と協働で作成したもので、くるりんばすを利用して訪れることができる「日進市の魅力」を紹介しています。</p>
事 務 局	<p>続いて(2)現在の運行状況について、平成24年4月から9月までの半年間の運行状況について報告いたします。利用者数につきましては、7コース合計、中央線共に前年度以上の利用をいただいております。また、運行収入につきましては、ほぼ例年並みの金額で推移しています。</p>
会 長	ご意見・ご質問はございますか。
会 長	<p>今日バスに乗ってくるときに、困っている方がいました。学生さんでしたが、2点ありまして、1点目は、お金の払い方でした。乗るときに払うのか降りるときに払うのか分からない。もう1点は帰りの時刻でした。私は検索サイトの情報を事前に教えてもらっていたので、教えて差し上げたところ大変喜んでいました。</p>

発 言 者	内 容
会 長	その他意見がありませんので議事を進めます。
(議 題)	(1) くるりんばすをとりまく状況の変化について (2) くるりんばす運行見直しの方針について (3) 本年度の見直しスケジュールについて
会 長	それでは続きまして、議題(1)(2)(3)について、関連がありますので一括してご説明をお願いいたします。
事 務 局	(資料に基づき説明) (1) くるりんばす運行開始以来の変化を年表形式にまとめたもの。今後も情報を追加していく。 (2) 平成20年度に行った見直しの際に決めた評価基準について、昨年度の会議でも報告したもののだが、平成23年度が終了したため、最新のデータを示したもの。それとあわせて、各評価基準について見直しの方向性を整理した。 (3) 今回示した見直しの方向性に基づき見直し案を決めていく。その中で、短期的に行えるものと、長期的かつ計画的に行うべきものに整理することとする。については、10月19日(金)に生活交通部会を開催し、皆さんに議論をいただきたいと考えている。
会 長	議題について、ご意見・ご質問はございますでしょうか。
委 員	スケジュールについて、今までの課題や評価、方向性の資料からどのような見直しを行うのかについて議論の余地があると感じた。11月に第2回の会議で検討し、第3回の会議で案を確定することとなっているが、バス停やルートの変更を伴うこととなるとさまざまな調整が必要となる。どのような意図か。
事 務 局	来年度の見直しについて、バスの運行スケジュールが10月を頭に翌年9月までの期間で計画が立てられていることを前提に、25年10月からの運行計画に反映できるものを短期目標と考えています。当然ものによってはそれ以前に取り組むことが可能なものもあると思います。
会 長	短期的にはすぐに取り組めることが見直しの内容になると思います。それに対し大きな視点で見た場合には、バス停を増やすとなれば見直しの方向性によってくるりんばすの意味合いが大きく変わることとなります。この点についても忌憚のないご意見をお願いします。
委 員	くるりんばすは、元々は高齢者などの生活の足を確保するところから始まり、今では通勤通学の足にもなっている、総合交通という考え方に発展してきていると感じます。 路線バスとしては、路線の長大化は運行効率の低下につながり、現在60分というのは路線の設定の仕方にもよりますが、おおよそ限界なのかなと考えます。 バス停について、週1人の利用なら廃止するのか、という論点についてダイヤ上障害になっているのかどうか。影響がないのなら残しても良いのではないかと。 税金を投入してこうした事業を実施していると、乗客が少しでも減ると、何処

発 言 者	内 容
委 員	<p>か間違っているのでは、という錯覚を起こしやすいように思います。毎年度安定して約49万人が利用しており大きな変動がないのはコミュニティバスとしては十分成功していると考えてよいのではないかと。民間であれば乗客が減れば路線が維持できない、といったこともあるが、行政の場合は福祉目的もあるので、確かにコスト意識も重要ではあるが、それにとらわれ過ぎるのは良くないと思います。</p> <p>双方向については、本当に苦勞して考えに考え抜いて作った仕組みで、確かに分かりにくいという声もあるでしょうが、慣れれば使いやすい部分もあり、まずは覚えてもらうことが大切ではないでしょうか。頻繁に変えるとなると、せっかく覚えた人がまた混乱する、ということにもなります。根本の部分についてはあまり手を入れない方がよいのではないかと思います。</p>
事 務 局	生活交通部会での議論の際に踏まえさせていただきたいと思います。
委 員	<p>部会長としては急なお話で、責任重大と感じています。</p> <p>バス停については、1つ増えるとダイヤを組めなくなる、ということが起こりえます。乗客がいなくてもバス停では停車して時間調整することとなっています。遅延はあっても早発はない、ということです。</p> <p>福祉バスから始まったものが現在は都市交通の機能も踏まえるようになってきている。10万都市にふさわしい都市交通のあり方については、急にできることでもないが、長期的な展望の中では考えていかなければいけない。</p>
会 長	評価基準について、見直しの必要があるものもあります。それについてもご意見をお願いします。
委 員	この資料にあるデータはどのようにして取られたものでしょうか。
事 務 局	指標に「アンケート調査」と示してあるものはアンケートによるもので、それ以外はバスの運行実績に基づいています。
会 長	アンケートの信頼性については、年間49万人の利用ですが、多くの方は重複利用の方であり、このような5段階の評価を取る上では数百の回答で十分といわれています。
委 員	ポケット版時刻表について、文字が小さ過ぎて高齢者には読みづらいと思います。配布について、あることを知らない人も多いと思うので直接配布しては。
委 員	確かに薄暗くなると読みづらいと感じます。
委 員	私も高齢者ですが、見えます。ただ、私は平均ではないので。高齢者の集まりなどでよくお聞きするところから判断すると、ご指摘のとおりだと思います。
委 員	以前に市役所へ文書で意見を出させていただいた。その中で、定期券の期間延長・対象拡大、年末年始運行、新路線の設定、マナカの利用促進、無料対象者の拡大（妊婦）、コースの見直し等をあげさせてもらった。これらの提案も少し慌てて取りまとめたところもあったので、もっと広く市民に対して意見を求めた方がよいと思います。
事 務 局	時刻表について、文字のサイズについては、確かに全コースが掲載されている

発 言 者	内 容
事 務 局	<p>大判のものよりもひと回り小さいものとなっており、読み辛いという意見はいただいているため、今回の作成の際には内容を精査して対応したいと考えています。</p> <p>配布の件については、車内にマグネット式のポケットを取り付けているが、かなりの数が出ています。各公共施設でも最初に配布を依頼した後に補充を行っていることから多くの方の手に渡っているものと思われま。</p>
会 長	施設以外にも配布にご協力いただけるところがあると良いでしょう。
委 員	東コースについて、米野木駅や名商大のバス停で時間調整をすることが多いので、その時間がもったいない。時間調整をするならば、市民会館に乗り入れてもらえるとうありがたいとのことでした。
委 員	時刻表を作り直すときは、東郷町のものを参考に、名鉄バスや近隣市町のバス、電車の時刻なども掲載してもらいたい。
会 長	日進の場合、会議体がバスのみを検討を対象としているのに対し、東郷町では全ての公共交通について議論する会議体になっているという違いがあります。
事 務 局	会議の位置づけについて、今後変えていくかどうかとも議論をいただきたい。
委 員	<p>今の地域公共交通会議の枠組みの中でも鉄道やその他のバスを含めた議論をしている自治体もあります。法定協議会とすることで、事業者の応諾義務がある、協議会で予算執行ができる、という違いはありますが、現在の形態でも問題はないと考えます。</p> <p>満足度の指標について、詳細に見ると一部のコースで満足度が急上昇しています。これについて原因を把握していますか。</p>
事 務 局	担当者の感覚としては、東・南コースの満足度が高い点について車両が中型で座席数が十分であることから不満が少ないのでは、といった推測はしていますが、現在出ている数値以上のデータはありません。確保維持改善事業に基づく調査事業に取り組むことで、さらに詳細な調査を行う必要があるのではと考えています。
委 員	<p>評価結果を見ると一人当たりの利用頻度が減っているのに利用者数が変わらないという結果から、より広く利用が進んでいるのではないかと考えられます。</p> <p>民間事業者でも、少子・高齢化が進む中、通勤通学に頼った事業では先細りとなっていくことから、新たなマーケットの開拓を模索しているところです。</p> <p>そういった観点から見ると、現状の結果というのは決して悪いものではなく、むしろ評価できるものなのではないかとも思います。</p> <p>といってもまだ利用したことがない、バスが通っていることすら知らないという人もいるわけで、そうした人にバス停の存在をどのように認知してもらうのか、というのは非常に難しいところですが、ルートを変えるという見直しよりも認知度を高めて未利用者を減らすという見直しのやり方もあるのでは、と思いました。</p>
委 員	ポケット版時刻表にも宣伝広告を掲載してはどうでしょうか。
会 長	新たな収入面として検討しては如何でしょうか。
委 員	時刻表は、出かけるときは家を出るに確認するので、使うとすれば出先で帰り

発 言 者	内 容
	の時間を知りたいときに見るものと思います。
委 員	時刻表を持ち歩く時は、自分が良く乗る時間に蛍光ペンでラインを引いています。
会 長	皆さんが工夫して利用しているアイデアを集めると面白いようにも思います。
委 員	五色園から北コースで古戦場駅へ出てNーバスに乗り継いでおられる方があると聞いています。しかし、乗り継ぎに非常に時間がかかるため、名鉄バスで星ヶ丘まで出て星ヶ丘から藤が丘へ地下鉄を利用して藤が丘からスクールバスを利用している人が多いそうです。もう少し乗り継ぎが良くなるとよいと思います。
会 長	本日たくさんご意見をいただきました。今日の議論に加えて、さらに生活交通部会で議論をお願いすることとしてよろしいでしょうか。
委 員	異議なし
会 長	部会長及び市民委員の皆様よろしくお願いいたします。
(その他)	
事 務 局	報告ですが、東郷町じゅんかい君の運行形態の変更について6月議会に議案を提出させていただき、議決を受けたところです。これに基づき7月1日より新しいコースでの運行をしておりますのでご報告いたします。
委 員	愛知県が行っているエコモビリティライフの推進について、積極的に取り組んでいる事業所や住民の取り組みを紹介すると共に表彰することとなりました。事前申込みをいただければどなたでもご参加可能ですのでお申込みください。
会 長	以上で終了となります。皆様のご協力に感謝します。
	(閉会 11時30分)